

大学の世界展開力強化事業（平成23年度採択）事後評価結果表

大 学 名	立命館大学
整理番号	A-I-10
事 業 名	東アジア次世代人文学リーダー養成のための、日中韓共同運営トライアングルキャンパス

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">S</div>	取組状況、目標の達成状況ともに事業計画を上回る成果をあげており、事業目的は十分に実現された。
(コメント)	
<p>交流プログラムの枠組みについては、日中韓の2年間の「移動キャンパス」と3カ国語学習および「3大学共同カリキュラム」によって人材を育成する、というキャンパス・アジアの理念に即した高い目標のプログラムの取組が構築されている。</p> <p>質の保証を伴った、魅力的な大学間交流の枠組み形成については、3大学教職員会議と各国の実務者会議による協議を経て、派遣学生の厳格な選抜、共通カリキュラム、成績の認定、単位の互換、GPA、3大学共通の修了証などを設定、維持しており、大きな成果を上げてきた。</p> <p>外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備については、日中韓3大学でアカデミックカレンダーをうまく調整し、3カ国語対応のWeb履修管理システムによって、いつでも履修の登録・確認ができるようにし、また共通シラバスを作成、学生にも「プログラムの手引き」を配布し、3カ国語の卒論要旨を作成、発表させるなど、創意工夫に満ちた運営を着実に周到に行ってきた。</p> <p>事業の実施に伴う大学の国際化については、移動キャンパス・共同カリキュラムという、学士課程のプログラムとしてはかなり挑戦的なものでありながら、大学全体の着実に組織的な運営で円滑に進められてきた。またキャリア支援も開始し、海外学生の日本での就職を支援し、日本人学生のグローバル企業就職をも実現させた。以上の成果は、他大学からも着目され、情報の公開や成果の普及も活発になされている。</p> <p>目標の達成状況については、魅力に富んだ構想の高い目標が、計画どおり着実に進んだばかりか、想定以上の成果が上がったことは、高く評価すべきである。</p> <p>今後の展開については、当初の構想どおり、人文学の深化に重点を置く内容の充実を期待する。また、3カ国以上の共同教育に対する普遍的なモデルを提供したことは、我が国の大学教育のグローバル展開力の強化に対する貢献として、高く評価できる。</p>	